

三行の中に思いを込める

町PTAが募集した三行詩の受賞者を表彰



益城町賞を受賞し、表彰状を受け取る篠原さん

12月28日、「親子で話そう！家族のきずな・我が家のルール」三行詩募集の表彰式が行われ、益城町賞受賞者のうち3人が出席し表彰状を受け取りました。

三行詩募集は、家族のきずなや家庭のルールを親子で考えるきっかけづくりにと、町PTA連絡協議会（北本裕児会長）が主催。町内の小中学生、保護者、教職員から168点もの応募がありました。

応募した小中学生全員に町PTA連絡協議会から、表彰状と参加賞が贈られました。

【益城町賞】※敬称略
おはよう ありがとう おやすみ
けんかしてもかならずつたえて
仲直り

篠原和奏（飯野小）

「行ってらっしゃい」「おかえりなさい」「いただきます」

これさえあれば大丈夫！
あとはみーんなついてくる。笑顔
もいっぱいついてくる。

安永治樹（広安西小）

「いただきます」と手を合わせると
食卓を囲むみんなの顔がある

あたりまえで それがいい

滝川吉稀（益城中）

叱るばかりの親だった
君の笑顔 凛々しくも

共に成長感じる 卒業式

釜賀信利（小峯）

【益城町教育委員会賞】
三宮千佳（広安小）、山口侑叶（広
安小）、齋藤雄一（広崎4町内）

【益城町PTA連絡協議会賞】
酒見幸作（益城中央小）、村田あす
か（飯野小）、岡村ユーコ（馬水北）

思春期に学んでほしい

木山中学校でデートDVの講演会

上益城郡内5町の人権擁護委員で構成されている熊本人権擁護委員協議会上益城部会（井口誠一會長）の男女共同参画社会推進委員会の12人が12月18日、木山中学校視聴覚室で人権教室を行いました。

人権教室では、同校3年生95人の生徒を対象とし、結婚していない交際の男女間で起こる暴力、いわゆる「デートDV」を題材に講演。これから思春期を迎え、異性



親しみやすいシチュエーションで演じられた寸劇

に興味を抱き始める中学生にぜひ学んでもらいたいとの思いから、委員みずからが登場する寸劇を啓発用のビデオを交えながら、演じました。



寸劇の一部に盛り込まれた啓発ビデオ鑑賞

なじみある熊本弁の口調で行われ、その日常的な雰囲気やコミカルな寸劇に親近感が湧いた生徒たちは、時折白い歯をのぞかせながら、興味深く聞き入り、拍手を送っていました。

後日、生徒たちにアンケートを実施。結果100%の生徒がほぼ理解できたと回答していました。